

第9回(令和3年度第1回)東京女子医科大学病院医療安全監査 議事要録

日時 : 2021(令和3)年8月5日(木) 14:00~16:00

場所 : Zoom (Host: 東京女子医科大学病院)

出席監査委員:(敬称略)

- 委員長 遠山 信幸 (自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長)
〔医療に係る安全管理に関する識見を有する者〕
- 委員 秋山 一弘 (秋法律事務所 弁護士)
〔法律に関する識見を有する者〕
- 委員 浜田 健一郎 (元 NHK 経営委員長、一般社団法人北前船交流拡大機構 理事長)
〔医療を受ける者その他の医療従事者以外の者〕
- 委員 本庄 八郎 (株式会社伊藤園 代表取締役会長)
〔医療を受ける者その他の医療従事者以外の者〕
- 委員 中村 芳夫 (内閣官房参与・日本経済団体連合会顧問)
〔医療を受ける者その他の医療従事者以外の者〕

監査内容:

- (1) 前回監査における指摘事項に関する改善点や変更点等について
 - 1) 医師のインシデント報告について
 - 2) IC 記録登録率およびアレルギー情報の入力状況について
 - 3) 画像診断報告書の未読率について
 - 4) インフォームドコンセントについて
 - 5) 転倒転落の改善効果について
- (2) その他の事項
 - 1) 患者誤認防止策の工夫
 - 2) 手術時のタイムアウトの実施状況 (できれば診療科ごと)
 - 3) 術中大量出血時の対策 (緊急コールや他科医師のコール体制・マニュアル)
 - 4) 術前中止薬の取扱いとアップデート状況 (予定手術キャンセル)
 - 5) 倫理上の問題点を討議する場と具体的な事例
- (3) 前回以降に取り組んだ課題、その他

監査委員による講評

- (1) 医師、初期研修医のインシデント・アクシデント報告数増加は活動の成果として評価できる。
- (2) インシデント・アクシデント報告数は、各部署によってボトムアップの余地がある。
- (3) 患者の意思決定の尊重を忘れずに、患者参加型医療の推進を続けて頂きたい。
- (4) 医療の質向上のために、IC フォーマット作成時の多職種による相互チェックが有用である。
- (5) カルテ内の IC 記録、アレルギー情報の記載向上、画像診断報告書の確認向上のため、システム改善や入力ルールの周知が望まれる。
- (6) 転倒転落による重症事例については、高齢者対策や個別対応に加え、集中的に病院全体で対策を実施されたい。
- (7) マニュアルに基づいた実施訓練としての多彩なシミュレーショントレーニングが重要である。
- (8) コロナ禍の中での医療提供に感謝したい。 —以上—